

2016年7月16日
18:00～20:30
(19:20～20:00)
会場：千駄ヶ谷区民会館

主催：不登校・ひきこもりについて
当事者と語りあういけふくろうの会

**STOP！教育機会確保法案
2016夏の陣**

東京大学法学部
教授 金井利之
(自治体行政学)

「支援」が差別になるとき—普通教育の基本はユニバーサル

はじめに

(1) 議員立法への動き

議員立法としての「多様な(き)教育機会確保法案」の動き

法案骨子・法案などがまとまるごとに、当事者団体などから様々な問題提起
超党派議員連盟と各党での「ある程度の合意」はあるものの、必ずしも腑に落ちるもの
ではない

2016年通常国会では成立しなかった

しかし、国会勢力に大差がない以上、いずれは、議員立法の動きは再開し得る

(2) 政府・文科省での動き

上記の超党派議員連による「議員立法」とは言いながら、会議には文科省・総務省担当者
も出席、純然たる議員立法ではなく、関係省官僚の助力を受けた立案作業の模様
(純然たる議員立法は、あくまで両院法制局などが助力する代物)

2015年1月27日、「不登校に関する調査研究協力者会議」の設置

文部科学省初等中等教育局長の(私的)諮問機関

⇒『不登校児童生徒への支援に関する最終報告(案)～一人一人の多様な課題に対応した
切れ目のない組織的な支援の推進～』2016年6月

「児童生徒理解・教育支援シート(試案)」同

*一人一人の多様な課題＝課題は不登校児童生徒側にある、という前提

*不登校児童生徒をあたかも「患者」のように「カルテ」を作る

2015年1月27日、「フリースクール検討会議」の設置

⇔『審議経過報告案 ふと高児童生徒による学校以外の場での学習等に対する支援につ
いて～長期に不登校となっている児童生徒への支援の充実～』2016年

フリースクール自体の検討がされているわけではない

「不登校施策の中で、特に、長期に不登校となっている義務教育段階の児童生徒へ

の、学校以外の場での学習等に対する支援に焦点を当てて検討」(p.2)
結局、フリースクールの制度上の位置づけ、経済的支援の在り方、は積み残し
(*要は、フリースクールは不登校児童生徒の収容先としてしか期待されず)

1. 「支援」とは欠陥の烙印

(1) 善意の「支援」に潜む影

「支援」とは、何かが欠けていて問題だから、本人のために周囲が援助する
確かに、困っている人を助けることは、善意で考えればよいことである

⇨その善意に潜む、「欠陥者」「問題児」「問題事案」という発想

支援すればするほど、相手方を貶める可能性を常にはらむ

「支援」によるダメ烙印(スティグマ)

(「不登校」時代の自分を病気のようにダメ烙印をして、「通学回復」を演出)

(2) 「不登校」=問題視

- ・学校に通うのは「義務」教育、保護者の就学義務、という誤解
- ・学校に通わないと、生涯を通じた学びの基礎としての学力が備わらない
- ・学校という集団生活における社会性が身に着かない
もっと言えば、不登校それ自体が「我儘」=社会性欠如の症状という偏見
- ・ひいては、社会的自立(=経済的自立・精神的自立)を果たせない

逆に言えば、「不登校」が起きるような学校の在り方の改善へはつながらない

「不登校」を起こす環境要因としての学校をそのままにして、「不登校」用の別のダメ烙印付の二級収容先を次々につくるだけ

例)特例校、フリースクール、学習支援センター

これらの収容先は、「不登校支援」(=「不登校」問題視が前提)である限り、「普通」の学校に対して、自他ともに格下に扱われる

これまでのフリースクールの実践は貴重だったし、フリースクールへの財政支援は拡大すべきだが、フリースクールを不登校支援の収容機関にすることは、フリースクールの自殺行為

2. 不登校は問題ではない

(1) 学校に通うのは人々の学習する権利(学ぶ権利)

権利は使う/使わない、は本人の自由・選択

*子どもの場合、保護者に一定の監督義務+権限は発生する、また、保護者がきちんと監督義務を果たしていない場合には、行政が措置する義務+権限はある

あくまで、これは児童福祉として、個別に対応すればよい

一般的に、行政が家父長権力主義に立って、子どもに学習を強制する必要はない
いずれ、ときが来れば、子どもも学習するようになる 例)福沢諭吉

就学年齢というのは、権利が発生する下限年齢

逆に言えば、大人になってもいつでも中学校で学習する権利はある、義務があるのは

行政側=人々が学びたいと思ったら、それを保障・実現する義務

保護者側=子どもが学びたいと思ったら、それを保障・実現する義務

「卒業認定」とは、学習機会保障がされたという証明であって、実際に学習権を行使

したこと、ましてや、学力が備わったこと、などを証明するものではない

(2) 学習は学校だけではない

学校で効率的に読書算の基礎学力をつけることは可能

しかし、学習できるのは学校だけではない

例) スマホ・ネットの使い方、キーボードの打ち方、運転免許

我々の世代は学校で教えてもらった覚えはない

通学したからと言って学力が付くとは限らない

例) 英語

通学することで却って学習が阻害される 例) エジソン

不登校・通学に関わらず、勉強したい人に機会を保障すべき

(3) 学校の(反)社会性

学校の共同生活で社会性が身に着くこともあるが、「悪の社会性」も学習

例) いじめ集団に加わる社会性、いじめを見て見ぬ振りする社会性

例) 刑務所で服役者同士が相互に反社会性を身に着ける、現象と類似

学校以外での社会性の涵養もありうる

学校は、まともな社会生活の場なのか？という反省の観点がない

善意の「不登校支援」論は、学校現場を理想化してとらえる机上論に陥りがち

(4) 「社会的自立」とは何か？

そもそも、学校とは社会的自立を強要する場なのか？誰のための学校か？

経済的自立が大事ならば、学校教育ではなく、雇用創出策をすべき

例) 長嶋茂雄 学習しようとしまいと、野球が上手なら、経済的自立

より正確には、学校＝野球の機会保障

重要なことは、プロ野球があったということそれ自体

プロ野球がなければ、野球の天才も経済的自立はできない

精神的自立を阻害するのが学校 同調主義、付和雷同、長いものに巻かれる

為政者・富裕者に都合の良い「精神的自立」＝自分の所為と自虐する「自立」観

むしろ、社会に同調しない「不登校」の方がはるかに精神的自立

3. 政策の誤謬

(1) 逆効果

「不登校」を問題視して支援対象とすること自体が、不登校当事者の自尊心を破壊

支援すること自体は、偽りの信頼関係の構築になり得る

「学校に行きたいのに行けない」という自傷感情

むしろ、「学校に行きたい」と思わされていること自体、「学校に行くこと自体が

望ましい」という価値観自体が、問題を生んでいる

こうした、子ども・保護者・社会にある「登校当然社会観」が最大の問題発原因

「不登校」せざるを得ない「居心地の悪い学校」を生み出すことに自省のない学校校長・

教師・教育委員会の関係者が家庭訪問すれば、事態を改善するどころか、かえって

悪化させることも 「小さな善意、大きなお世話」

(2) あるべき政策の方向性

政策のターゲットは、不登校児童生徒・その保護者ではない

「不登校」は問題でない以上、不登校児童生徒に対象を特化した支援策は有害無益
学習支援をするならば、全ての人々に対して普遍的(ユニバーサル)に行うべき
(そもそも、普通教育自体は普遍的学習サービスに門戸を開くべき場)

政策の改善ターゲットとされるべきは、

- ①不登校を生み出すような学校の在り方そのもの
- ②「登校当然社会観」を持つ社会それ自体
「不登校」の当事者を内面から呪縛して苦しめる社会観からの解放
- ③そもそも、不登校を問題にする以前に、自殺に追い込まれること自体
「不登校」は生きているからこそ「不登校」であり続けられる、その価値
長期休暇明けに児童生徒の自殺が多いという事実を重く受け止めるべき

4. 普通教育の再建

(1) 普遍的(ユニバーサル)サービス

ユニバーサル・サービス＝誰でもがサービスを楽しむことができる状態を作る

例)電気、ガス、水道、郵便、通信、貯金、移動(交通)

サービスの消費を強要されるという意味ではない

学校教育も誰に対しても門戸を開くことが原則

「不登校」支援策は、かなりの比率の子どもに学校の門戸を閉鎖し、別の場に誘導する
排除・拒絶に利用

(2) ユニバーサル・デザイン

ユニバーサル・デザイン＝誰にでも使いやすい作りにする

不利な人の類型に沿って特別の仕様を作って対応するのではなく、不利な人に合わせて仕様を作れば、結局、全ての人に使いやすい

例)既存の(暗黙の「健常者」用の)店の仕様を改善することなく、身体障害者専用のお店を別に作るのではなく、障害者がそのまま入れる店の仕様にする

現在の学校は、すべての児童生徒に「居心地の良い場」ではない

「不登校」とは、いわば、学校という場に対する当事者の政策評価指標
本来行うべきことは、学校現場の改善により、結果として、「不登校」だったひとが、居心地良く通学できるようになる状態を作ること

(なお、普通教育は学習権保障の手段であり、ユニバーサル・サービスであるから、
通学・登校は強要されてはいけない)

養護教諭、保健師、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが学校を変えるか?

しかし、国が考える「不登校」対策は、全く学校現場を改善する発想がない

【了】